

数理・情報のフロンティア
2021 年度採択研究者

2021 年度 年次報告書

濱西 夏生

東京大学 大学院学際情報学府
大学院生(博士課程)

動画による動作観察と対面した人間を観察する体験とのギャップを埋める
ローコストな時空間インタラクション技術の研究

§ 1. 研究成果の概要

本年度は、動画から取得した対面者の座標と利用者の座標の整合をとるための技術に取り組んだ。この技術を用いて、時空間データである対面者の動作情報へ利用者がインタラクションするためのプロトタイプシステムを開発し実験環境を構築した。

この実験環境を用いて、対面者の動作情報を動画情報のように取り扱うためのインタラクションの探索を行った。

具体的には反復再生するインタラクションを利用者に提供する UI の設計・開発に取り組んだ。

また、動画に記録された複数の時空間データを対面しているかのように観察する際に必要となる動的な時刻調整アルゴリズムの開発に取り組んだ。

現在までの研究成果の一部を論文化し国際学会に投稿した。結果としては不採択であった。査読結果を踏まえ論文を修正しさらなる論文投稿を計画している。